

病理研修会を行っています！



1，精密検査

食肉検査部門では，安全で衛生的な食肉を生産・流通させる為にと畜検査を行っています
が、通常の肉眼的検査で判断の難しいものについては、**微生物学的**、**病理学的**、**理化学的**に
精密検査を行っています。

微生物学的検査 豚丹毒，サルモネラ症，敗血症など感染性の病気が疑われる場合には，
細菌培養を行い，検出した菌の同定（菌の種類を決定すること）を行います，また，牛白血
病などウィルスによる病気が疑われる場合は，抗体検査やPCR検査も行います。

病理学的検査 白血病や腫瘍などが疑われる場合は，病変部分の組織，細胞や白血球など
の状態を検査します。

理化学的検査 黄疸や尿毒症などが疑われる場合は，血液検査を行い，ビリルビンや尿素
窒素の量などを測定します。

2，病理ってなに？

病理学的検査とは，前述のように疾病の診断や原因（病因）の究明を目的として，臓器，
組織，細胞などを対象に顕微鏡等を用いて詳しい診断を行うことです。

病理診断の種類として，

臓器や組織を肉眼的に観察する（**肉眼診断**）

顕微鏡標本を作製し光学顕微鏡を用いて組織学的な検索を行う（**組織診断**）

スライドグラスに付着させた細胞を顕微鏡下で診断する（**細胞診断**）

などがあります。

3，病理研修会

当検査所では，食肉検査員の病理学的知識の習得を目的として，病理研修会を定期的に行
っています。過去に肉眼的検査では判断が難しく病理検査を実施したものから，テーマに沿
って疾病を選び組織所見や過去の症例の診断などについて議論、検討しています。今までの
テーマは，牛・豚の肝臓，腸，皮膚，中皮腫，黒色腫，子宮筋腫，CL16欠損症，等です。

今後も主要な疾病や重要な症例を中心に研修会を開催し，検査員の
レベルアップを図っていきたいと思っています。

